

認知症専門棟 看護部

認知症は忘れてしまう病気です。しかも新しいことから忘れてしまうため、少し前のことがわからなくなってしまう。昔のことは覚えていたりするのでその方の生き方が見え認知症の症状も人それぞれ違います。なぜ認知症の方が大声を出すのか、なぜ眠れないのか、その理由を考えその方の気持ちを知ろうと努力しそれぞれの人生をサポートしていこうと取り組んでいます。



認知症の方のケアは、決して一人ではできません。当施設のような介護老人保健施設であれば、医師・看護師・介護職・ケアマネージャー・リハ専門職 栄養士・支援相談員など多職種によるチームとして入所者様のケアを行います。認知症ケアの基本・原則は、「人としての尊厳を保つ」ことだと思います。人が人間らしく生活できることが、何よりも大切で欠かせないものです。

認知症の方は訴えが少ないか、または多様な訴えがありすぎる事から何が起きているのかを判断することが難しくそのため日々の身体的観察とその反応、表情や訴えの変化に注意し観察していくことが重要です。

そのことからその方の症状に合った個別な目標を設定し、その方に合った個別対応を行っています。

